

NEWS RELEASE

日本板硝子株式会社

2021年4月15日

国内初、耐熱強化ガラス JIS 認証を取得した防火ガラスの新発売について

日本板硝子株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼 CEO 森 重樹、以下「NSG」）は、国内で初めて耐熱強化ガラスに関する JIS（日本産業規格）の認証を取得しましたのでお知らせします。また、同認証に適合する防火ガラスについて、耐熱強化ガラス「パイロクリア[®] J^{シイ}」、耐熱強化複層ガラス「パイロペア[®] J^{シイ}」として本日販売を開始しました。

建築基準法では、建築物が密集した都市部において火災時の延焼を防ぐために防火設備の設置が定められており、開口部には防火ガラスとして網入板ガラスや耐熱強化ガラスが使用されています。以前から使用されている網入りガラスは、金網をガラス内部に入れることで火災時のガラス脱落を防止していますが、金網が視界を遮るといった難点や、長期間の使用では、ガラス内の金網の錆びによってガラスが割れてしまうことがあります。

一方、当社の「パイロクリア[®]」は、フロート板ガラスに特殊なエッジ加工と超強化処理を加えた耐熱強化ガラスとして、火災時でも破損せずに火炎を遮断すると同時に、ワイヤレスのため、クリアな視界と自然な色調が得られます。

今般販売を開始した「パイロクリア[®] J^{シイ}」、「パイロペア[®] J^{シイ}」は、設置にあたって個別に国土交通大臣認定を取得する必要がなく、建築基準法告示の防火設備の仕様として使用することができる^(*)ため、防火ガラスを使用する開口部設計の自由度が上がるものと期待しています。

NSG は今後とも高付加価値製品の提供を通して、より快適で安心安全な生活空間の創造に貢献して参ります。

^{*}1 防火設備として使用するためには、耐熱強化ガラスと枠を含めて告示の例示仕様に適合させる必要があります。

以上

NSG グループ（日本板硝子株式会社およびそのグループ会社）について

NSG グループは、建築用、自動車用および高機能ガラスの分野において世界最大のメーカーのひとつです。従業員数約 27,000 人、約 30 カ国に主要製造拠点を有し、100 カ国以上で製品の販売を行っています。 <https://www.nsg.co.jp>

<お問い合わせ>

（報道関係等） IR・広報部 Tel : 03-5443-0100
（製品のお問合せ） お客様ダイヤル Tel : 0120-498-023

IR・広報部
東京都港区三田 3-5-27
電話 : 03-5443-0100

【ご参考】

<パイロクリア® J・パイロペア® J 製品情報ページ>

[ガラスワンダーランド - 日本板硝子 \(glass-wonderland.jp\)](http://glass-wonderland.jp)

■ 使用イメージ



■ 製品の特長

パイロクリア® J / パイロペア® J

◆ 国内初 耐熱強化JIS取得

国内初 耐熱強化ガラスJIS認証 (JIS R3223:2017) を取得しました。

◆ エッジ強度250MPa以上

耐熱強化JIS II類の要件であるエッジ強度250MPa以上で管理された製品です。

◆ ワイヤレス防火ガラス

網のないクリアな視界と自然な色調が得られます。ワイヤレスのため、錆割れの心配がなく熱割れも発生しにくいです。

防火設備 告示の例示仕様として使用可能

エッジ強度250MPa以上の耐熱強化ガラスとスチール枠(ステンレス枠)を組み合わせることで、個別に大臣認定を受けることなく、防火設備の告示の例示仕様として使用可能です。

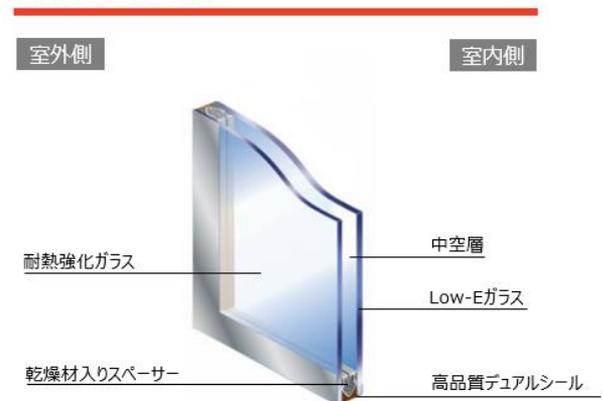
※防火設備として使用するためには、耐熱強化ガラスと枠を合わせて告示の例示仕様に適用させる必要があります。

■ 構造図

パイロクリア® J



パイロペア® J



■ 透視の比較



■ JIS および耐熱強化ガラス JIS 認証

JIS（日本産業規格）とは、日本の産業製品に関する規格や測定法などが定められた日本の国家規格のことであり、耐熱強化ガラス JIS 認証（JIS R3223:2017）では、建築用防火設備として用いる耐熱強化ガラスの品質、強度等について規定されています。

■ 建築基準法告示概要

防火設備の建築基準法告示(第 1360 号)には、網入板ガラスが例示仕様として記載されていましたが、2019 年 3 月 29 日改正告示第 470 号が公布され、耐熱強化ガラス仕様が追加されました。

耐熱強化ガラスの仕様として、エッジ強度 250MPa 以上を満たす必要があります。

パイロクリア J（Ⅱ類）はエッジ強度 250MPa 以上で管理されているため、スチール枠やステンレス枠と組み合わせて、告示仕様に適合させることにより、個別に大臣認定を受けることなく、使用することができます。

国土交通省 告示改正概要抜粋（2019 年 3 月 29 日）

サッシ種類(※1)	ガラス種類(※2)	躯体開口寸法（幅×高さ）
スチール枠またはステンレス枠 (FIX 窓のみ)	・単板仕様：耐熱強化ガラス ・複層仕様：耐熱強化ガラス+Low-E ガラス	700～1,200mm × 850～2,400mm

※1 告示仕様に従ったサッシ及び施工に適合させる必要があります。

※2 耐熱強化ガラス：厚さ 6.5mm 以上 (※)、エッジ強度 250MPa 以上 ※当社製品は 8mm のみにあります。

Low-E ガラス：厚さ 5mm 以上、垂直放射率 0.03～0.07 ※複層仕様は屋外側が耐熱強化ガラス、屋内側が Low-E ガラス

「防火設備の構造方法を定める件（告示）」の参考資料：旧（一社）カーテンウォール・防火開口部協会

(http://www.cw-fw.or.jp/Portals/0/cwfw/pdf/R11227_kokuji1360sankou.pdf)

IR・広報部

東京都港区三田 3-5-27

電話：03-5443-0100